

市町村が目指すべき森林政策と それを担う人材

造林技術研究所 **横井 秀一**

森林政策を考える上での大きな問題

- 森林の現状に対する様々な問題
- 林業の現状における様々な問題



これらの問題が生じた原因

- **エビデンスを持たない政策や施策**
- **思考停止状態の現場の管理・作業**

どちらも人・しくみに問題



これらの問題の背景

- **専門技術者になるための教育（就業前・就業後）の不足**
- **優秀な人材を活かせない／改革から逃げる組織**

市町村が目指すべきは人材の活用

- **人材の育成は国・都道府県に任せればいい**
 - 体力のある市町村が独自の人材を育成することは大歓迎
- **市町村の内部に専門家がいない必要はない**
 - 森林分野の専門職員がいるに越したことはない
 - 外部の専門家を上手に活用する
 - 誰を／どのように活用するかに頭を使う
 - 地域のことをよくわかっている専門家が大切
 - 必要な助言／使える助言をくれる専門家が重要

地域林政アドバイザーをしっかりと活用

- アドバイザーが実力不足
- アドバイザーとして活動しにくい雇用形態



市町村ができるこれらへの対処

- **実力のあるアドバイザーの見極め**
- **アドバイザーが活動しやすい形での仕事の依頼**
- **十分な報酬**

市町村の森林政策の方向を間違えないで

- **森林は伐採利用しなければならないのか**
 - 誰にとっての伐採適齢期か
 - 主伐は森林経営上の重要な決断
 - 人に勧められて伐るものではない ましてや行政に
 - 主伐 = 森林の破壊
 - 儲からないのに伐る必要があるか
 - 伐った後にきちんと再生させられるのか

- **市町村が生物多様性や地球温暖化の対策を講じる必要があるか**
 - 無視してもいい／無関心でいいということではない
 - 市町村における森林管理の目的にしないということ
 - 貴重な森林はきちんと保護・保全すべき

市町村が優先すべき森林政策

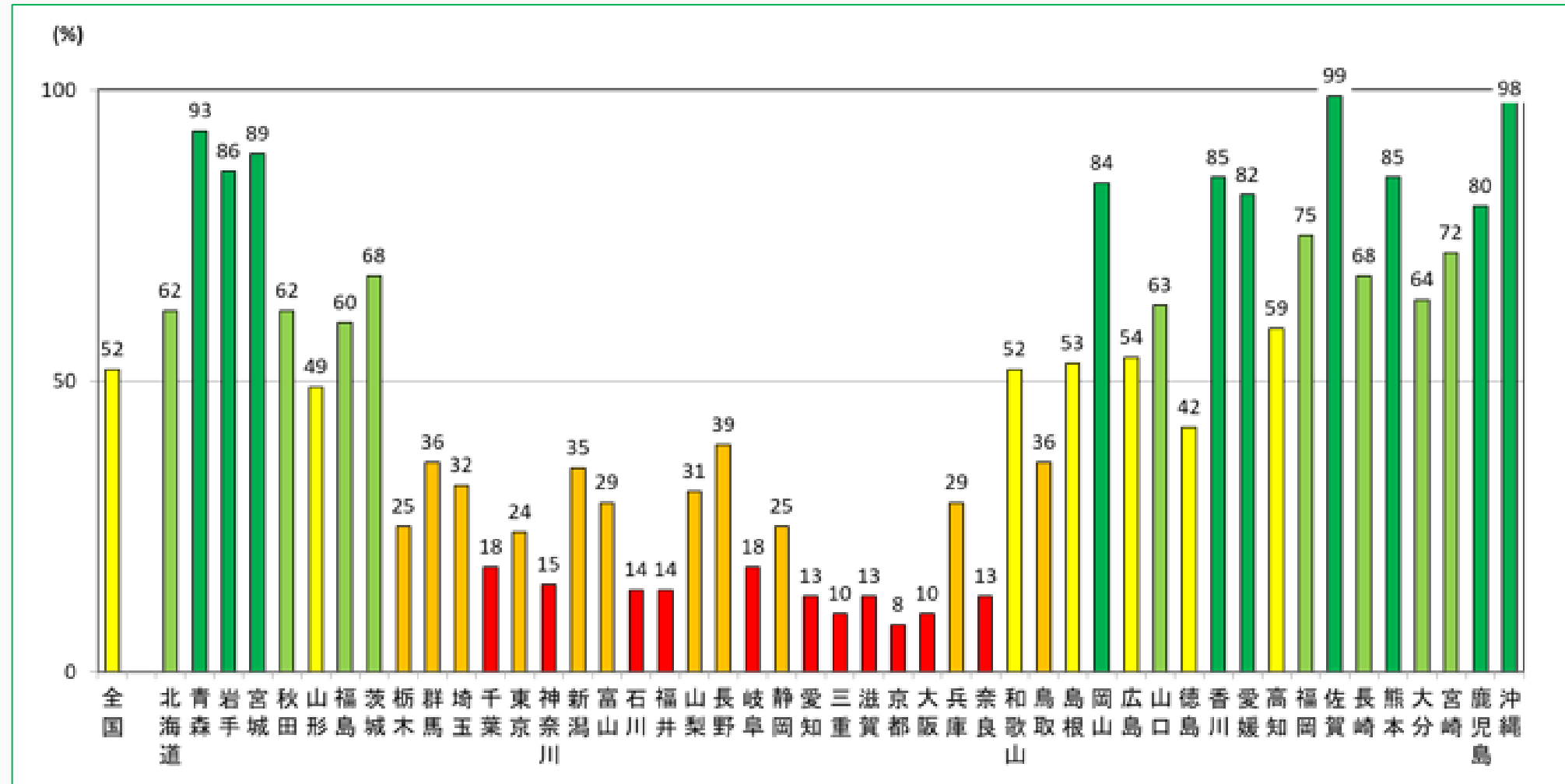
■ 防災

- 森林が災害の発生起点にならない／災害を誘発しない
- 森林が災害から保全対象を守る

■ 地域振興

- 地域の中でしっかり稼ぐ
- 地域住民が豊かになる（金銭的なことだけでなく）
- 単なる林業振興にあらず 木材生産以外にも広く目を向ける
 - 林業が主要産業であれば林業振興であってもいい
- 木材流通が地域内で完結する必要はない
 - できるだけ付加価値をつけて地域外へ流通

ついて回る林地の境界不確定



地籍調査進捗率(令和3年度末時点、令和4年6月調べ)